

2012年度商社リーグ 第四回代表者会議 議事録

日時	12月3日(月) 20:00~22:00
会場	伊藤忠商事(株)東京本社(2012年度主幹事)10階 1001会議室
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	住金物産/鈴木

議題	内容
	※以下敬称略
議事	<p>I. 主幹事報告</p> <p>II. リーグ進捗状況確認</p> <p>III. 大倉商事リーグ脱退報告</p> <p>IV. Buzz Session</p> <p>V. 2013年商社リーグに関する提言</p> <p>VI. 今後のスケジュール</p>
I. 主幹事報告	<p>①リーグ戦日程に関して</p> <p>・通常年内に終わるリーグ戦が年内に終わらず1月中旬までずれ込んでしまった。 ・1/12(土)、1/13(日)リーグ戦で、三井物産と住友商事が連日の試合となってしまった。 →主幹事として運営の力不足であり、来年の教訓としたい。</p> <p>②1/6(日)開催のリーグ戦グランド使用に関して</p> <p>試合会場:富士通厚木グランド 該当チーム:兼松(代表)、長瀬、三菱、豊通 品川FCとのフレンドリーマッチ参加企業:丸紅、住友、伊藤忠 当日は兼松が代表として受付窓口の加藤様に挨拶をし、グランド使用料の支払い、緊急時の打ち合わせを行なう。</p>
II. リーグ進捗状況確認	<p>①リーグ戦について【確定】</p> <p>・リーグ戦は予備日開催1/13(日)をもって全日程終了予定。 ・入れ替え戦は1/19(土)つくばアントラーズフットサルクラブ(人工芝)にて実施決定。</p> <p>②リーグ戦終了後の予定について【確定】</p> <p>・Champions Cup…主幹事からのメール参照 ・商社合宿…3/9(土)、3/10(日) つくばアントラーズフットサルクラブ</p>
III. 大倉商事リーグ脱退報告	<p>報告 2012年度商社リーグをもって大倉商事は商社リーグから脱退する。 背景 1998年に会社が倒産し、母体を失った後も15年間に渡りチームを存続させてきた。しかし、平均年齢の上昇にともない近年けが人が続出し、プレイヤーが若手主体の商社リーグでのプレイが困難になりつつあった。今後は、平均年齢の高いリーグに移行し、「大倉商事」の名の下、現メンバーでサッカーを続けていくという結論に至った。</p> <p>＜金田会長コメント＞ 企業におけるスポーツ団体は、企業の広告塔としての意味合いが強く、企業の財務状況によって存続が危ぶまれるという点において、その基盤は脆弱であり、スポーツが企業文化として根付いていないのが現状。そんな中、大倉商事は、既に会社が存在していないにも拘らず、存続しており商社リーグ象徴するようなチーム。部員が集まらない、部費が捻出できないと嘆くようなチームはレベルが低く、見習うべきである。</p>
IV. Buzz Session	<p>テーマ①大倉商事のリーグ脱退について</p> <p>＜豊通/樋口＞ グループ【豊通、蝶理、ユニシス】 大倉の意志を尊重することが第一であり、その上でOver30リーグの創設、フレンドリーマッチの定期化を検討しチームを存続させる。</p> <p>＜丸紅/大迫＞ グループ【丸紅、日立、住金】 大倉の部員を他のチームが受け入れて個人として参加をリーグへの継続する。(受入れに対して前向きなチーム:三井、丸紅、住金、日立)</p> <p>＜双日/加藤＞ グループ【双日、三井、阪和】 新たにオープンなカップ戦を創設し、カップ戦のみ参加してもらう。</p> <p>＜長瀬/南＞ グループ【長瀬、岩谷、兼松】 部員が少なく参加が厳しいのであれば7人制サッカーのリーグを創設する。</p> <p>＜三菱/阿部＞ グループ【三菱、住友、大倉】 他チームで出場機会が少ない人間を派遣し、大倉の「箱」を残したまま、連合チームを作る。(派遣に関して前向きな企業:住商、JFE、伊藤忠)</p> <p>＜伊藤忠/岡田＞ グループ【伊藤忠、兼松、JFE】 連合チームを作るという想いは素晴らしいが、チームへのLoyaltyの低下は避けられず、困難と考える。</p> <p>＜大倉/大谷＞ 建設的な意見が多く、非常に有り難いが大半はこれまでチーム内で検討したアイデアである。ただ今回新たに上がったアイデアをチームに持ち帰り、前向きに検討したい。</p> <p>テーマ②「減点問題について」</p> <p>○減点-1を運用開始 (-1)±(-1)=-3 ペナルティ1 【マイナスのシナジー効果】 ※あくまで1回の罰則で-3の減点につかないようにするための救済措置である。</p> <p>【減点-1 適用事案】 該当チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーグ戦登録外の人間に審判を担当させる 三井 ・審判関連の備品(審判服、フラッグ等)を借りる 長瀬×2、阪和 ・試合前の宣言しない 住金、長瀬 ・キャプテンマークの不備 住友、阪和 <p>【減点不適用事案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副審が時計を身につけない <p>理由…運営要綱に義務の記載はなく、主審、MOが時間を管理しているため大きな問題はない。</p> <p>【上記減点適用チーム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長瀬 (-1)+(-1)+(-1)=-4 ペナルティ1 ・阪和 (-1)+(-1)=-3 ペナルティ1 ・住金 -1 ・三井 -1 ・住金 -1 <p>＜金田会長コメント＞ 長瀬、阪和は「監理ポスト※2」チームである。長年のチーム運営のルーズさが体質化しており、今回の減点を機にチーム運営を見直すべきである。各チームともプライドをベースにしたオペレーションをして欲しい。 ⇒長瀬、阪和は表彰式の際、宣誓を行なうとともに減点に関して始末書を作成する。</p> <p>※2 上場されている有価証券が、上場廃止基準に該当するおそれがあると認められた場合に割り当てられるポストのこと</p>
V. 2013年度商社リーグに関する提言	<p>＜金田会長＞ 商社リーグのさらなる発展のため、現行のリーグ体制の見直しを行う。 (案)</p> <p>①1部、2部の編成を変える 例) 1部リーグのプレミア化…罰則規定を強化し、1部リーグのチーム数を5チームとし2回戦総当りの8試合を行なう。</p> <p>②Champions Cupに他業界チームを招待する 例) 「企業No.1チーム決定戦」と銘打ち、商社リーグのブランド化を図る。</p>
VI. 今後のスケジュール	<p>・第5回代表者会議の日程: 1/15(火)</p>